

TOPIC 10 海がきれいになるとうれしい

5/16 白糠高校と漁協女性部がごみ拾い

白糠高校ドリーム部（塚田翔太郎部長）と漁協女性部（加藤美紀部長）が漁港周辺の清掃活動を行いました。

この日は、ドリーム部4人と有志の生徒5人、教員など30人が45分ほどかけて、たばこの吸い殻や空き缶、ビニールなどのごみを拾い集めました。

塚田部長は「海がきれいになるとうれしいので、少しでもごみを減らしたい」。加藤部長は「高校生と一緒に活動することで、町が一丸となって取り組んでいる気がしています」と話していました。



清掃活動は10月までの間、月に1回実施します



（左から）募金箱を手に廣谷顧問、小野会長、吉田課長

TOPIC 11 ウクライナの人に役立てて

5/16 女性ボランティアクラブが寄付

町女性ボランティアクラブ（小野キサ会長、会員113人）は、日本赤十字社が実施している「ウクライナ人道危機救援金」へ11万3千円の寄付をしました。

この日、廣谷スマ子顧問と小野会長が役場を訪れ、日赤奉仕団白糠分区事務局の吉田昌司介護福祉課長へ目録を手渡しました。

廣谷顧問は「ウクライナの報道で心を痛めた人が多く、会員を中心に約1カ月かけて集めました。少しでもウクライナの人に役立てば」と話していました。

TOPIC 12 タブレットの基本的な使い方を学ぶ

5/17 元気はつらつ教室タブレット研修会

町は、65歳以上の町民を対象にした「タブレット研修会」を西庶路コミュニティセンターで開催し、参加した8人がタブレットの基本的な使い方を学びました。

講師を務めたケイズプランニングの佐々木圭一代表は、地図のアプリなどを使って、タブレットを指で操作する方法や文字の入力の仕方などを教えました。

柴沼光博さん（72）は「パソコンもスマホも持っていないので、操作を覚えるのは難しいけれど何とか覚えたい。帰ってからも練習します」と話していました。



佐々木代表（左）や町職員からタブレットの使い方を学ぶ参加者



ガレットを買い求める伊良和花さん（中央）と和葉さん（右）姉妹

TOPIC 7 山の恵みを味わう

5/5 白糠高校生オリジナルレシピ考案

チーズ工房白糠酪恵舎の「山の恵みの即売会」が、同工房前庭特設会場で開かれ、町内外から大勢の人がチーズ料理やラム串焼きなどを味わっていました。

「茶路でフルコース」をテーマに、茶路めん羊牧場や栄三郎商店などが出店。チーズステーキやラクレットのほか、ラム串焼きやピッツァなどが登場しました。

町内在住の伊良和花さんは「久しぶりの町内イベントで楽しかったです。ハイジパンやガレットがとてもおいしかったです」と笑顔を見せていました。

TOPIC 8 こどもの日はプールで遊ぼう

5/5 温水プール無料開放

「こどもの日」の5日、温水プールは大勢の子どもたちに水遊びを楽しんでもらいたいと、町民と釧路市民を対象にプールを無料開放しました。

この日は、開場とともに多くの子どもや親子がプールを訪れ、滑り台を滑ったり、浮き輪やビート板などを使って泳いだりして、はしゃいでいました。

釧路市から家族で訪れた吉川晴さん（小学1年）は「大きいビート板で遊んだのが楽しかったです。また白糠のプールに来たいです」と笑顔で話していました。



大きいビート板に乗って遊ぶ子どもたち



第1分団による消防ポンプ車操法

TOPIC 9 ポンプ操法を披露

5/15 白糠消防団・白糠支署春季消防演習

白糠消防団（桐原千里団長、団員91人）と白糠支署の春季消防演習が白糠消防庁舎で開かれ、団員54人が消防ポンプ操法などで訓練の成果を披露しました。

演習では、分列行進や服装・機械器具点検が行われた後、第3分団による小型ポンプ操法と、第1分団による消防ポンプ車操法の展示が行われました。

桐原団長は、操法の展示の結果を良好と講評し、「常備消防機関と連携を図りながら、さらなる防災力の向上に努めたい」とあいさつを述べました。